

科目名	簿記検定対策講座 2						年度	2026	
英語科目名	Accounting Exam Preparation Course 2						学期	後期	
学科・学年	スポーツ健康学科三年制 スポーツビジネスコース 2年次	必/選	選	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	郡 若好	教員の実務経験		有	実務経験の職種		簿記検定対策講座講師		

【科目の目的】

簿記の基本的なルールと用語を学び、検定試験に合格するための基礎知識を構築することです。学生は簿記の基本的な原則を理解し、検定試験に自信を持って臨む能力を身につけます。

【科目の概要】

簿記検定 3 級資格受験に向けた専門的知識を習得します。

【到達目標】

- A. 簿記の基本的なルールと用語を学び、検定試験に合格するための基礎知識を構築することができる
- B. 簿記の基本的な原則を理解し、検定試験に自信を持って臨む能力を身につけることができる
- C. 日商簿記の対策が出来、過去問を解くことが出来る

【授業の注意点】

必ず電卓を持参すること。1 2 桁以上が望ましい。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力
到達目標 A	簿記の基本的なルールと用語を学び、検定試験に合格するための基礎知識を構築することができる		簿記の基本的なルールと用語を学ぶことができる		簿記の基本的なルールと用語を学ぶことができない
到達目標 B	簿記の基本的な原則を理解し、検定試験に自信を持って臨む能力を身につけることができる		簿記の基本的な原則を理解できる		簿記の基本的な原則を理解できない
到達目標 C	日商簿記の対策が出来、過去問を解くことが出来る		日商簿記の対策が出来る		日商簿記の対策が出来ない
到達目標 D					
到達目標 E					

【教科書】

「合格テキスト日商簿記 3 級」 T A C 出版
「合格するための過去問題集日商簿記 3 級」 T A C 出版

【参考資料】

【成績の評価方法・評価基準】

成績評価については、筆記もしくはレポートによる試験結果（中間/期末/定期的な提出物など）30%、授業中の参加姿勢/学習意欲（リーダーシップ、積極性、学習に対する向上努力など）30%、出席状況40%とし、授業内における達成度・到達度を総合的に判断して行います。なお、成績評価を受けるためには、全授業の75%以上の出席が必要となります。

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		簿記検定対策講座 2			年度	2026
英語表記		Accounting Exam Preparation Course 2			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	イントロダクション	検定概要の理解	1 検定概要	検定概要を理解できる	2	
			2 決算とは	決算の意味と意義を理解できる		
2	決算整理①	決算整理の理解	1 未処理事項	未処理事項を理解できる	2	
			2 精算表基礎	精算表基礎を理解できる		
			3 現金過不足	現金過不足を理解できる		
3	決算整理②	決算整理の理解	1 売上債権の貸し倒れ処理	売上債権の貸し倒れ処理が出来る	2	
			2 売上原価の計算	売上原価の計算ができる		
			3 貸し倒れの見積もり	貸し倒れの見積もりが作れる		
4	決算整理③	決算整理の理解	1 減価償却について	減価償却について理解できる	2	
			2 費用の神輿・繰延への処理	費用の神輿・繰延への処理を理解できる		
			3 決算整理まとめ	振り返りをし、決算についての理解が出来る		
5	精算表	8桁精算表取り扱い	1 精算表の取り扱い	精算表の取り扱いができる□	2	
6	勘定の締め切り	締め切り方	1 帳簿締め切り	帳簿の締め切り方を理解できる	2	
			2 勘定の締め切り方	勘定の締め切り方を理解できる		
7	損益計算書と貸借対照表	損益計算書と貸借対照表について	1 財務諸表の作成	財務諸表の作成が出来る	2	
			2 簿記一巡の手続き	簿記一巡の手続きを理解できる		
			3 損益計算書	損益計算書を理解できる		
8	伝票会計	伝票会計について	1 伝票	伝票の意味を理解できる	2	
			2 三伝票制	三伝票制を理解できる		
			3 一部現金取引	一部現金取引を理解できる		
9	弱点補強対策	弱点補強対策	1 仕訳対策	対策ができる	2	
			2 帳簿記入対策	対策ができる		
10	弱点補強対策	弱点補強対策	1 精算表対策	対策ができる	2	
			2 試算表対策	対策ができる		
11	過去問題演習①	過去問題演習	1 過去問	過去問を解くことが出来る	2	
12	過去問題演習②	全経簿記過去問題演習	1 過去問	過去問を解くことが出来る	2	
13	日商簿記対策	問題対策	1 日商簿記対策	日商簿記対策が出来る	2	
14	日商簿記対策	問題対策	1 日商簿記対策	日商簿記対策ができる	2	
15	まとめ	模擬試験	1 模擬試験	模擬試験を解くことが出来る	2	

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等